第1号

PVかながわ ニュースレター

旬な話題

あと1年を切った「電力自由化」
～あなたはどこから電気を買いますか～

2016年4月から、家庭向けの電力供給が完全自由化されます。今まで一般電気事業者（東京電力など）を選べず買ってきました。自由化を控えて新たな電力事業者（特定規模電気事業者、通称：新電力、PPS）が急増しています（2015年4月30日現在経産省届出：654社）。私たちはこの多数の業者から自由に選択して、電力の供給を受けることができます。「新電力」は、自ら発電し、あるいは買い入れて、一般電気事業者の送電網に使用料を払って借り、契約者に電気を供給するのです。

電力自由化のメリットは、自由化されることで価格競争が起き、電気料金が安くなることで、契約者は自分で選択できます。例えば、再生可能エネルギーで発電した電気を選んだり、地域の事業者や価格の安い電力会社を選ぶことなどができます。反対に新電力は、私たちの発電した電力も買ってくれます。既に「FITでの買い取り価格プラス1円で買ます」と言っている会社も出てきています。つまり私たちの発電した余剰電力をどこに売るかも選べるのです。一方で**自由化によるリスク**は、停電や新電力の倒産でしょう。国は新たに「広域的運営推進機関」という組織を設立して、すべての地域に安定供給ができるような司令塔の役割を与えることになっています。

--横谷

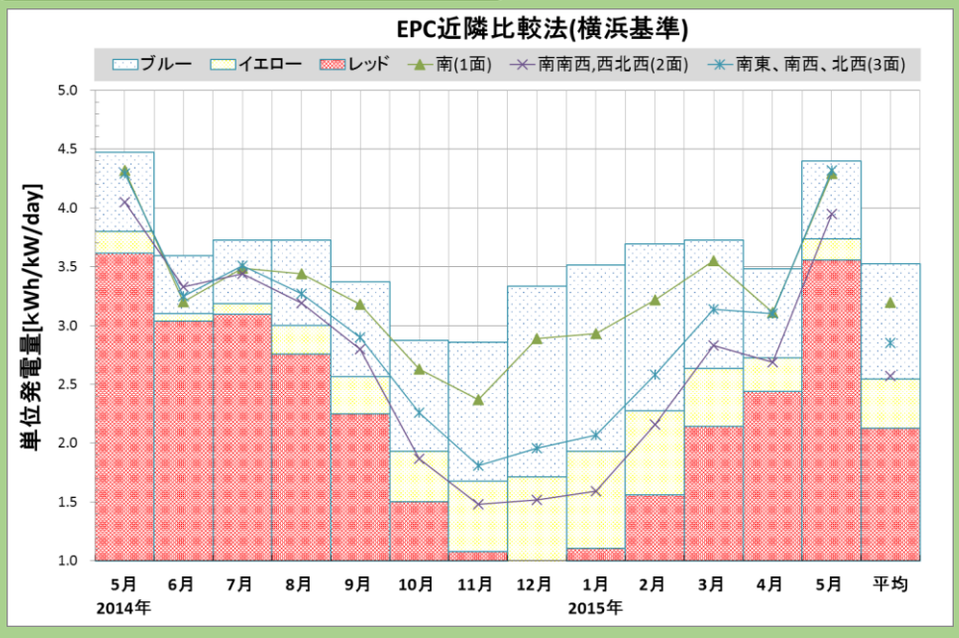
世話人から

1）この情報誌の名称
表題のタイトルは世話人会にて決定いたしました。
これからよろしくお願いします。

2）投稿をお寄せください
皆さんからの情報や話題の投稿も、スペースの許す範囲で掲載しますのでご協力ください。

3）今後の予定
6/21:出前発電所を作ろう!
かるがも(星川駅前)
6/21:さがみはら環境まつり
ミゥイ橋本
6/21:平塚市環境市民講座
平塚市市民活動センタ

今月の単位発電量！



EPC近隣比較法の棒グラフ”レッド”は、北東30度の推定単位発電量です。ほとんどの設置条件の発電所は、適切に稼働していれば、この値を大きく下回ることはありません。 さて、5月はよく発電したのではないでしょうか？

気象庁によると5月は、「全国的に気温はかなり高く、北・東日本では、1946年の統計開始以来、最も高温となり、55地点で月平均気温が観測史上最も高い値を更新した。本州付近では高気圧に覆われることが多く、北日本太平洋側と東日本日本海側の日照時間は、1946年の統計開始以来5月としては最も多く、東日本太平洋側の降水量はかなり少なかった。」

単位発電量とは、1kWあたり、1日あたりの平均発電量です。毎月の発電量[kWh]を設備容量[kW]と日数で割ってください。平均は直近12か月の単位発電量です。ご自分のデータもプロットしてみましょう。